

## IODP に関する広報活動について

### 1. 市民を対象にした普及・広報イベント

#### (1) “地球の記憶を掘り起こせ” IODP 大学&科学館キャンペーン

JAMSTEC 及び J-DESC は、昨年度末から今年度にかけても「ちきゅう」及び IODP について国内の大学生・大学院生へ存在をアピールし、将来の乗船研究者の確保をすると共に IODP 科学コミュニティを支える人材の育成を目指し、国内 2 箇所にて IODP 大学&科学館キャンペーンを実施した。併せて、大学と同地域の博物館もしくは科学館においては、一線の科学者が直接小・中学生に語りかける等、「ちきゅう」及び IODP への認知と応援の空気を醸成すべく、幅広い普及・広報活動を行った。

第 14 回	平成 19 年 3 月 2 日 (金)	名古屋大学
	平成 19 年 3 月 3 日 (土)	名古屋大学博物館
	平成 19 年 3 月 31 日 (土)	名古屋市科学館
第 15 回	平成 19 年 7 月 20 日 (金)	千葉大学
	平成 19 年 7 月 21 日 (土)	千葉県立中央博物館

大学キャンペーン参加者	2 大学計	131 名
博物館キャンペーン参加者	3 館合計	250 名
博物館 IODP 関連展示見学者	3 館合計	約 13,500 名

#### (2) 日本科学未来館の企画展「地下展」に協力

平成 19 年 8 月に日本科学未来館の企画展「地下展」に展示協力し、プレイベントとして IODP に参加する研究者による講演会を実施した。参加者は 120 名。

#### (3) 国立科学博物館における展示「南海トラフに挑戦」

上野の国立科学博物館日本館 1 階で行われた夏休みサイエンススクエアにおいて、平成 19 年 8 月 1 日～8 月 5 日まで全国の子供やファミリーに向けて JAMSTEC のブースを出展した。今年のテーマは、「地震の巣(南海トラフ)に挑戦」として展示とクイズを実施した。入場者数は 5 日間で計 3,224 人。

### 2. 国際学会等での展示および普及活動

#### (1) 国内

平成 19 年 5 月、日本地球惑星科学連合 2007 年大会(幕張)に、J-DESC、高知コア研究所と共同でブース展示を実施した。

#### (2) 国外

- ・ アメリカ地球物理学連合 2007 年秋大会

平成 18 年 12 月 11 日～15 日、サンフランシスコにて開催されたアメリカ地球物理学連合 2007 年秋大会において、IODP-MI、J-DESC ならびに各国の IODP 代表機関と共同でブース展示を実施した。

- ・ アジア・オセアニア地球科学学会 2007 年大会  
平成 19 年 7 月 30 日～8 月 3 日、バンコクにおいて開催された、アジア・オセアニア地球科学学会 2007 年大会において、IODP-MI、J-DESC ならびに各国の IODP 代表機関と共同でブース展示を実施した。

### 3．報道関係の取り組み

#### (1) プレスリリース

平成 18 年 12 月から平成 19 年 8 月末までの間に、JAMSTEC は全 6 件のプレスリリース及び説明会を行った。【別添資料参照】

#### (2) TV、ラジオ、新聞などメディア掲載について

IODP、「ちきゅう」、及び南海トラフの研究計画に関して、JAMSTEC は国内外のマスメディア（新聞・雑誌・ウェブサイト）等からの問い合わせに対応した。

掲載・取扱数（平成 18 年 12 月より平成 19 年 8 月まで）新聞：10 件、TV：3 件、ラジオ：3 件、雑誌・本：2 件

### 4．ウェブサイト運営

JAMSTEC では、ウェブサイトで、「ちきゅう」研究航海、「ちきゅう」の性能、掘削方法、CDEX の組織等に関する情報を提供している。アクセス数は以下の通り。

期間	アクセス数
2006 年 11 月	60,886
2006 年 12 月	48,492
2007 年 1 月	66,621
2007 年 2 月	55,018
2007 年 3 月	55,991
2007 年 4 月	63,655
2007 年 5 月	61,296
2007 年 6 月	56,949
2007 年 7 月	80,127
2007 年 8 月	85,728

（『ちきゅう』発見情報サイト：<http://www.jamstec.go.jp/chikyu/jp/news/>）

### 5．「ちきゅう」メールニュースサービス

JAMSTEC は、「ちきゅう」及び IODP に関するトピックを電子メールによって購読登録者に配信する「ちきゅう」メールニュースを平成 18 年 11 月から開始し、平成 19 年 8 月までに日本語・英語とも 22 件を配信した。本サービスは、比較的、掘削科学に対して興味を持ち、電子メールを登録することで積極的かつ定常的に情報を得たい支持層を対象と

している。バックナンバーはウェブでも参照できる。

(日本語) <http://www.jamstec.go.jp/chikyu/jp/mailnews/index.html>

(英語) <http://www.jamstec.go.jp/chikyu/eng/mailnews/index.html>

平成 19 年 8 月 23 日時点での登録者数は 1,345 名である。

## **6 . その他**

### **( 1 ) IODP 成果報告会**

平成 19 年 5 月 26 日 ( 土 ) 東京大学海洋研究所において、第 3 回 IODP 成果報告会を J-DESC 及び東京大学海洋研究所と共催で実施した。参加者 53 名。

### **( 2 ) 広報物制作 [新規項目]**

平成 19 年 3 月、大学生・大学院生および若手研究者を対象とした IODP 解説ビデオ「地球の記憶を掘り起こせ！」を制作した。

## 「ちきゅう」関連プレス及び説明会

平成 18 年 12 月より平成 19 年 8 月までに行った、「ちきゅう」に関するプレス発表は以下のとおり。

月	日	カテゴリー	内容
2	21	説明会 (FY19 事業計画) 文科省記者向け	地球深部探査船「ちきゅう」南海トラフ掘削の準備状況
	23	説明会 (FY19 事業計画) 論説向け	地球深部探査船「ちきゅう」南海トラフ掘削の準備状況
4	6	プレス発表	紀伊半島沖熊野灘における地球深部探査船「ちきゅう」の科学掘削に向けたデータ取得のための調査の実施について
4	19	説明会 (FY19 事業計画) 大阪記者会	地球深部探査船「ちきゅう」昨年度の成果および今年度開始の「IODP 南海掘削」について
7	18	プレス発表	地球深部探査船「ちきゅう」による海外試験掘削作業の終了と今後の予定について
8	23	プレス発表	地球深部探査船「ちきゅう」による「南海トラフ地震発生帯掘削計画」の開始について